

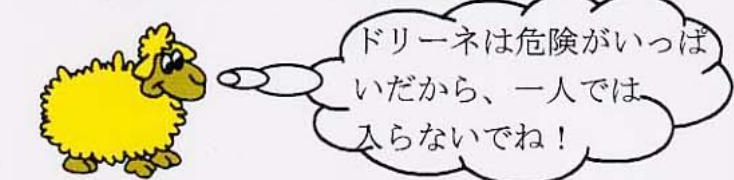
石のひっこじ だより

ドリーネめぐり

ドリーネめぐりの特集は、前号で終了しましたが、全体の位置を明確にするために、前号までに紹介したドリーネを地図上で示し、補完しました。

- ①深窪 ②上穴・下穴 ③カワ帰水
- ④産須根の穴 ⑤助佐穴(シランの谷)
- ⑥エノハの淵 ⑦ばくち穴 ⑧見晴台第二洞
- ⑨小穴 ⑩大穴 ⑪滝不動ドリーネ ⑫芳ヶ谷

地図上に赤い○で囲んだ部分にドリーネがあり、○の横にあるナンバーと説明文中のナンバーが対応しています。また、①から⑫のナンバーは、紹介した月を表しています。例えばナンバーの①は、深窪で1月に紹介したドリーネです。



野の花スケッチ

ボランティアの進藤直美さんが、平尾台の野草をスケッチで紹介する新シリーズ。12月まで毎月掲載します。

今月はサツマイナモリ(薩摩稲森)です。
(アカネ科サツマイナモリ属: 北九州国定公園指定植物)

平尾台では、11月下旬から5月上旬まで見られます。長さが1～1.5センチの小さな花がかたまって咲いています。花びらの内側に小さな毛が密生し、木漏れ日にすかして見ると、透明感がある花です。ドリーネの斜面に人知れず咲くサツマイナモリは、寒さの中にも凛とした存在感を感じます(直美)。



☆ イベント報告 ☆

「落ち葉で遊ぼう」11月23日(金・祝)

午前中に、神社の森に出かけ、落ち葉を集めました。落ち葉は新聞紙に挟んで重しを載せて整形しました。昼食の前後で、落ち葉や木の実で絵画や工作にチャレンジしました。応募人数が予定より多かった為、レクチャールームを使用し、家族単位に作業机を用意しました。また、落ち葉や木の実等の素材(スタッフ・ボランティアで事前に準備)を中央のテーブルに置き、バイキング方式で、新聞紙で作ったトレイで取れる様に工夫しました。大人も子供も時間が経つのを忘れて、次々とユニークな作品を作っていました。日頃、体験した事の無い遊びだったようで非常に楽しんでおられました。また開催して欲しいとの要望が多数あり、来年も開催する予定です。(参加者: 一般29人、ボランティア4人)



平尾台の生きもの リンゴドクガ



11月18日

ドクガ科。分布: 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島。
成虫の前翅長36～60mm。幼虫は体長約35mm。成虫は4～5月、及び7～8月に出現。バラ科、ヤナギ科、ブナ科、カエデ科、ニレ科の葉を食害する。色鮮やかな幼虫がセンター建屋の外壁をはっていました。いかにも毒がありそうですが、無毒らしいです。



終令幼虫

☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日: 平成20年1月18日(金)
(10:00～16:00) 研修室

対象: 一般10名(材料費: 2,000円)
申込締切: 平成20年1月10日(木)

●ドリーネハイキング

冬のドリーネに降りて地形・植物を観察

開催日: 平成20年1月27日(日)
時間: 9:30～15:00

対象: 一般20名
申込締切: 平成20年1月17日(木)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●平尾台野草写真展

野草勉強会の皆さんが撮影した野草の写真展

開催日: 1月4日(金)～2月28日(木)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所: センター1F展示室

カルスト文化祭

11月1日～29日 開催

平尾台をテーマにした作品を募集し、応募作品を展示しました。平尾台を愛する方々の作品は、どれも力作揃いでした。来館者からも好評で、感心して見入っていました。応募人数: 13人、応募点数(写真42点、油絵2点、陶板画1点、アートフラワー3点、俳句7点)。



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の周辺歩き

塔ヶ峰

～ 平尾台を中心とした貫山地周辺の山や麓を巡る新シリーズ ～

今回は、行橋側の塔ヶ峰（標高396.4m）を取上げます。行橋側からは、円錐形の尖った山に見えます。千貫岩駐車場からラクダ山までは草原の中、ラクダ山から先は植林帯の尾根歩きになり、展望は殆どありません。所々赤いテープがありますが、地図とコンパスは必携。塔ヶ峰山頂付近の展望岩からは、北西～南西方向にかけて唯一展望が開けています。ラクダ山から先は石灰岩ではなく田川変成岩で出来ています。



千貫岩駐車場からラクダ山：約40分
ラクダ山から塔ヶ峰：約2時間



☆ イベント報告 ☆

「枯野観賞ハイキング」12月16日（日）



冬とは思えない絶好のハイキング日和になり、センターから山神社～深窪～鞍外し～四方台稜線～岩山～茶ヶ床～平尾の森の東側防火帯を歩きました。ススキやネザサの渋い色合いがとても美しく、冬枯れの平尾台のすばらしさを再発見。枯れた野草から花を想像し名前を当てたり、冬越しの植物の状態を観察しました。夏の花であるカワラナデシコが一輪咲いており、皆さんビックリ。また、四方台付近から見える小穴、大平山、広谷などの雄大な景色や岩山の侵食された石灰岩の様子に、自然の素晴らしさを感じ取っておられました。冬枯れの平尾台で自然の大きさを感じ、冬の植物観察の楽しさを再発見したイベントでした。とても好評だった為、来年度はコースを変えて実施する予定です。（参加者：一般24人、ボランティア10人）



☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日：平成20年2月15日（金）
（10:00～16:00）研修室

対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：2月8日（金）

●防火帯ハイキング

野焼き前の平尾台を歩こう！！

開催日：平成20年2月17日（日）

時間：9:30～15:00

対象：一般30名

申込締切：2月8日（金）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●平尾台野草写真展

野草勉強会の皆さんが撮影した野草の写真展

開催日：開催中～2月28日（木）

（9:00～17:00）※入館16:30まで

場所：センター1F展示室

僕も、スマレは好きだな！



野の花スケッチ

今月はコショウノキ（胡椒の木）です。
（ジンチョウゲ科ジンチョウゲ属）

高さ1mになる常緑小低木で、平尾台では12月～4月に直径1センチ前後の花を付け、6月に光沢のある赤い実になります。この実がピリッと辛いので、名前の由来になりました。花のほとんどなくなるこの季節、平尾台ではドリーネの中や林の下など、少し薄暗い場所に咲いています。寒い平尾台を歩く時、この香りを嗅ぐとちょっぴり幸せな気分になります（進藤）。



パトロールだより

平尾の森を歩いていると、倒木の上に白い綿毛が沢山ついていました。どうやらテイカカズラの種のようなようです。白い毛は透き通った絹のような光沢があります。キョウチクトウ科のつる性常緑低木で、6月に白い花を咲かせ、ジャスミンに似た匂いがあります。



1月10日



1月18日

道路から少し入った日当たりのよい場所に、コスミレの花が咲いていました。暖かい日差しが、春を呼び寄せています。花卉の色も赤みの強いものや青みの強いものもあり、つい見とれてしまいます。いくら暖冬とはいえ、これから寒くなる日もあるでしょうから、「寒さに負けないで！」って声を掛けました。

石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

☆ イベント報告 ☆

「ドリーネハイキング」1月27日（日）



⑤ ここ数日の悪天候が嘘のように回復し、絶好のハイキング日和になりました。コースは、センター～川ドリーネ～助佐穴～見晴台～篝火（かがりび）盆地～エノハの淵～茶ヶ床～深窪～下穴～平尾の森を歩きました。ドリーネには助佐穴と下穴に降りました。助佐穴では帰り水現象やトウファー、鍾乳洞の痕跡、タチデンダ等のシダ植物を観察。下穴ではドリーネ耕作の名残であるゴボウの種や陥没穴等を観察しました。ドリーネ内部に降りるのは、殆どの方が初めての体験だった為、下からの眺めや内部の様子を、興味深げに観察していました。川ドリーネや篝火盆地、エノハの淵、深窪等は穴の上から眺めました。茶ヶ床では石灰岩に貫入したランプロファイアーやアプライトを観察。平尾の森でオニシバリ等の冬の植物を観察しながら帰ってきました。（参加者：一般17人、ボランティア4人）



大雪 2月13日から14日にかけて、激しく雪が降り、積雪はセンターで20cmから30cmに達しました。その影響で13日の午後から、センターは、臨時休館となりました。九州は雪に弱いとです。



☆ イベント情報 ☆

●野焼き見学会
春を告げる野焼きの一般見学会
開催日：平成20年3月2日（日）
※平尾台自然の郷が窓口です※
(093-452-2715)

●アートフラワー講座
平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成20年3月14日（金）
(10:00～16:00) 研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：3月7日（金）

●平尾台クリーン大作戦！！
平尾台を皆でキレイにしよう！！
開催日：平成20年3月30日（日）
時間：10:00～13:00
対象：なし
※当日参加も受け付けます。

★クリーン大作戦の応募は往復ハガキの他、TEL・FAX・Eメールでも受け付けます！
申込締切：3月23日（日）
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●平尾台野焼き写真展
センタースタッフが撮った野焼きの写真展
開催日：3月1日（土）～3月30日（日）
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

平尾台の周辺歩き

七積 ななつもり

今回は、行橋側の七積（442m）を紹介します。山頂付近は神域となっており、小さな社があり、巨木（直径2m前後のスダジイの大木が林立）がうっそうとしています。地元の方によると、ここは女人禁制（酒も禁制）で、毎年、別所地区の男達がお参りに来ているそうです。別所には、毛利元就の子孫（孫）が、この地に流れてきて建立した明見寺（西山浄土宗）があり、毎年1月13日に、男達だけで、先祖の供養をしています。峰（森）がこんもりと、折り重なって見える事が、七積の名前の由来となっているようです。登山道は尾根道以外では、余りはっきりしていません。



県道28号線→尾根分岐：約25分
入覚→尾根分岐：約55分
尾根分岐→七積：約50分
ラクダ山→七積：約90分



野の花スケッチ

今月はナガバナタチツボスミレ（長葉の立坪堇）です。（スミレ科スミレ属）

日当たりのよい斜面から咲き始めます。花の直径は約1.5～2センチです。春遅く花が終わる頃には、草丈も伸び、葉の長さも長くなります。これが早春に見たものと同じ種類かと驚かされます。平尾台では、野焼き後の台地から、まずスミレの仲間が色々と咲いていき、花好きには、楽しい季節のはじまりです。よく似たものに、ニオイタチツボスミレがあり、こちらは良い香りがします。（進藤）



大雪

平尾台は一面の銀世界。山頂付近では、ひざまで積雪があったそうです。

石のひっじ だより

平尾台の周辺歩き 大行事山

今回は行橋側にある草原の大行事山を、千貫岩駐車場基点コースで紹介いたします。まずは大かんの台へ登り、南東側のネザサの急な踏み分道を、尾根伝いに下って行きます。展望が良く、特に大行事山から見る風神山から堂金山に掛けての通称「地の果て」（石灰岩と田川変成岩の境界地域の崖）は絶景です。道は、山頂からは北東に延びる防火帯の尾根（急傾斜）を下ります。途中からネザサの藪漕ぎをして、千仏川を渡渉します。対岸を少し登ると九州自然歩道に出ます。左へ向かうと千仏鍾乳洞、右は行橋方面です。帰りは千仏橋を渡り、不動坂を登ります。登り切ると平尾台上です。



大行事山 大かんの台
千仏川
塔ヶ峰
大行事山



野の花スケッチ

今月はオキナグサ（翁草）です。（キンポウゲ科オキナグサ属）

4月初旬、野焼き（3月）の終わった黒い台地から赤紫色の釣鐘型の花を持ち上げてきます。うつむくように咲く花と茎や葉に白い毛が沢山あるので、全体に白っぽく見えます。開花時に10センチほどあった花茎は花が終わる頃から伸びてきて30センチほどになり、白い毛玉の実をつけます。この姿がお爺さんの頭髪の様に見えることからオキナグサ（翁草）という名前が付いたそうです。盗掘等で平尾台でも減少しています。皆さん観察するだけにしましょうね（進藤）



☆ イベント報告 ☆

「防火帯ハイキング」2月17日（日）

朝から雪が舞う厳しい寒さの為、午前中だけのハイキングとしました。防火帯や野焼きについてレクチャー後、吹雪のフィールドへ。コースは、平尾の森周囲の防火帯を歩きました。13日に降った大雪



で、深い所は約20cmの雪が積もっていました。雪面にはキジやノウサギの足跡が残っており、その足跡から動物の名前を当てるクイズをしました。参加者の殆どが、雪の平尾台を初めて歩いたようで、「良い思い出になりました」や「童心に返りました」などの感想を頂きました。とても寒かったけれど、参加者には好評だったようです。（参加者：一般8人、ボランティア6人、スタッフ2人）

平尾台の生きもの ツチイナゴ

イナゴ科。複眼を通る黒い縦線が涙を流したように見える。草原性でクズを好んで食べる。九州以北に分布するバッタの中で唯一成虫で越冬する。成虫は褐色、幼虫時代は緑色。（保育社「セミ・バッタ」参照）

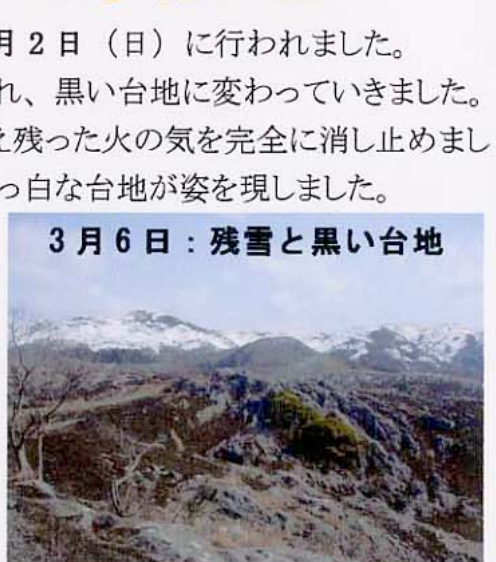


地域行事

平尾台の春の風物詩「野焼き」が3月2日（日）に行われました。枯れ草色のカルスト台地が、炎に包まれ、黒い台地が変わっていきました。その夜から翌日にかけて雨が降り、燃え残った火の気を完全に消し止めました。そして3月4日には雪になり、真っ白な台地が姿を現しました。



野焼き



慰霊祭



30年前の野焼き時の山林火災で、消防士5名が尊い命を落とされました。今年は、センターで慰霊祭が行われ、殉職者のご冥福を祈り、野焼きの安全を誓いました。

☆ イベント情報 ☆

●ドリーネハイキング
野焼き後のドリーネの中に降りて観察しよう
開催日：平成20年4月13日（日）
時間：9:30～15:00
定員：20名
〆切り：4月6日（日）（必着）

●アートフラワー講座
平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成20年4月18日（金）
（10:00～16:00）研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：4月11日（金）

●大平山ハイキング
地形と春の野草を観察する新緑ハイキング
開催日：平成20年4月29日（火・祝）
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切り：4月22日（火）必着。

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●荒木猛夫野草写真展
ボランティア荒木猛夫さんが撮影した毎年恒例の野草写真展
開催日：4月1日（火）～5月30日（金）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の周辺歩き



お糸地蔵



大泉寺



お糸池

今回は、小倉南区呼野にある稗の粉池（通称お糸池）を取上げます。平尾台南端の龍ヶ鼻西側山麓の湧水を利用した溜池です。呼野・小森地区の灌漑用の溜池として作られましたが、度々決壊する為、当時14歳だった少女お糸が人柱となり、享保三年（1718年）に堤が完成したという哀話が残されています。毎年八月二十四日夜に菩提寺である大泉寺やお糸池周辺でお糸地蔵まつりが行われています。日本の重要湿地500（環境省）にも選ばれ、これからも保存が望まれます。湧水は飲み水にもなっています。池の周囲には、石灰岩地を好むハナイカダやコショウノキ、平尾台では龍ヶ鼻にしかないナットウダイ等の植物が観察出来ます。

お糸池

おいといけ



ナットウダイ

☆ イベント報告 ☆

「ドリーネハイキング」4月13日（日）

コース：センター～牡鹿洞～川ドリーネ～農道～シランの谷南側～見晴台～エノハの淵～茶ヶ床（昼食）～深窪～平尾の森～山神社～センター。3班に分かれ、地形（ドリーネ、ウバーレ、カレン、ピナクル、貫入岩）や春の野草（ヒトリシズカ、センボン



ヤブレガサ



シャガ

ヤリ、ヤブレガサ、スマレ類）を観察しました。途中シランの谷付近で突然アナグマが現れ、野生動物にびっくりしたようです。また、ヒバリやキジ、ホオジロ等の野鳥も囀り声を聞かせてくれました。野焼き後の萌芽時期の草原は石灰岩の露出が目立ち、その景観自体が素晴らしく、参加者の皆さんは、大変喜んでいました。道は歩き易く、距離も程よかった為、疲れもなく楽しかったようでした。（参加者：一般23人、ボランティア7人、スタッフ2人）



パトロールだより

三笠台付近から天狗岩方面の風景です。岩の間に、桃のピンクとヤマブキの黄色が点在し、淡い新緑とマッチして美しい。

春の風景



天狗岩

4月15日

☆ イベント情報 ☆

● シラン観察ハイキング

春の野草を観察しながらハイキング
開催日：平成20年5月8日（木）
時間：10:30～14:30
定員：20名
〆切り：5月1日（日）（必着）
※おでかけ交通対応イベント

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成20年5月16日（金）
（10:00～16:00） 研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切り：5月9日（金）

● 平尾台 春の虫観察

平尾台で見られる春の虫を観察します
開催日：平成20年5月18日（日）
時間：9:30～15:00
定員：20名
〆切り：5月11日（日）必着。

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

● 荒木猛夫野草写真展

ボランティア荒木猛夫さんが撮影した毎年恒例の野草写真展
開催日：現在開催中～5月30日（金）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

野の花スケッチ

今月はシラン（紫蘭）です。（ラン科シラン属）

RDB（環境省）準絶滅危惧、（福岡県）準絶滅危惧
北九州国定公園指定植物

40センチ前後の草丈で、花の大きさは5、6センチもあり、周りの緑の中でもひととき目を引きまします。漢字では紫の蘭と書きますが、少し紫がかった濃いピンクの花色をしています。花は、4月下旬から5月下旬まで見ることができます。平尾台ではシランの谷（助佐穴）などの群生地が数箇所あり、満開の時は見事です。家庭でも良く栽培されていますが、野生のシランには格別の美しさがあります。

（進藤）



タケトゲハムシ 平尾台の生きもの イボタガ

タケトゲハムシ（イッシキトゲハムシ）：コウチュウ目 ハムシ科トゲハムシ亜科。食草：タケ類の葉。

体長：4.5mm 分布：九州 越冬形態：成虫。

写真の虫は、マダケの茂るドリーネ内のユリワサビの葉裏にいたものです。普通種らしいのですが、小さくて気が付き難く、今回初めて見ました。



3月16日

イボタガ科。食草：イボタノキ、キンモクセイ、ネズミモチなどの木の葉。分布：北海道から屋久島。

開長：80-115mm。6月頃、土中で蛹化し、春に羽化する（春に一回だけ出現：3月下旬～4月）。

この写真は、センターの外灯に来たもので、翅の色は地味だが、目玉模様がなんとも面白い。



石のひっじ だより

平尾台の周辺歩き

今回は、小倉南区市丸地区にある大清水・小清水を訪ねました。どちらも平尾台にしみ込んだ雨水が山麓から湧き出したカルスト湧泉です。大清水は、神社の境内にあり鳥居の右手方向から湧き出しています。木立に囲まれひんやりとした場所です。昔から霊水がこんこんと湧き出していたため、祠を建て風と水の神様を祀っていたそうです。大清水神社から100mほど北側に行った民家の横に小清水の湧水があります。底から湧水と共に泡が出ています。水の中には、サワガニが棲んでいました。ここは地域の方が野菜の洗い場として利用しています。どちらの湧水も、大雨が降った後は、濁り水になるそうです。



大清水・小清水

おしょうず ・ こしょうず



☆ イベント報告 ☆

「大平山ハイキング」4月29日（火・昭和の日）

コース：センター～山神社～下穴～大平台～九州自然歩道～大平山（昼食）～キス岩～茶ヶ床～深クボ～山神社～センター。野草は昨年より比べ一週間程開花が遅く、カノコソウはつぼみでしたが、ホタルカズラが満開でした。野鳥もセッカやヒバリ・キジなどが鳴き声を聞かせてくれました。森では、マムシグサ、ムサシアブミ、ホウチャクソウ、ハナイカダなどが観察できました。2歳から70代まで年齢の幅があったのですが、のんびりと歩いたので、さほど疲れも無く平尾台の自然を満喫できたようでした。（参加者：一般26人、ボランティア9人、スタッフ2人）



「シラン観察ハイキング」5月8日（木）

おでかけ交通対応イベントとして平日に実施。コース：センター～農道～助佐穴南側～箱穴～不動山（昼食）～堂金山～エノハの淵～見晴台～助佐穴北側～センター。シランの開花は昨年より遅く、三分咲きでしたが、きれいに咲きそろっている場所もありました。シラン以外では、ホタルカズラやシロバナハンショウヅル・イブキシモチ（好石灰岩植物）等が興味を引き、タツナミソウや咲き始めのジャケツイバラにも人気がありました。（参加者：一般17人、ボランティア7人、スタッフ2人）



☆ イベント情報 ☆

- カッコウ観察会
春の野草を観察しながらハイキング
開催日：平成20年6月1日（日）
時間：9:00～12:00
定員：20名
〆切り：5月25日（日）（必着）
- トキノウ観察ハイキング
梅雨期の野草を観察しながらハイキング！
開催日：平成20年6月8日（日）
時間：9:30～15:00
定員：20名
〆切り：6月1日（日）必着。
- アートフラワー講座
平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成20年6月20日（金）
（10:00～16:00）研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切：6月13日（金）
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。
- きのご写真展
『福岡きのこ友の会』の皆さんが撮影されたキノコ写真などを約50点展示します。
開催日：6月1日（日）～6月29日（日）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1Fエレベーターホール
※荒木猛夫野草写真展も同時開催中！！

野の花スケッチ

今月はノハナショウブ（野花菖蒲）です。
（アヤメ科アヤメ属）

RDB（福岡県）絶滅危惧ⅠB
北九州国定公園指定植物

花は赤紫色で、径は約10センチ、草丈は40～80センチです。ネザサ等の緑が茂り始めた6月の平尾台ではひととき目立つ存在です。現在、広谷湿原などに少数生育していますが、以前は沢山見られたそうです。

観賞用に栽培されるノハナショウブは、この花から改良された園芸品種で花も大型で、花色も豊富に豪華になりました。
（進藤）



クロスジギンヤンマ 平尾台の生きもの ホソクビナガハムシ

クロスジギンヤンマ：トンボ目 ヤンマ科ギンヤンマ属。
体長：70mm 分布：本州東北部から九州
出現時期：4月～6月 越冬形態：終齢幼虫。
ギンヤンマに似ているが、より黒っぽく、胸に二本の黒いすじがあるのが特徴。成虫は、平地から低山地にかけての樹陰のある、やや閉鎖的な池を好むようです。平尾の森外周の防火帯（深クボ付近）にいた羽化後まもないメスのようです。



ホソクビナガハムシ：コウチュウ目 ハムシ科亜科。
食草：サルトリイバラ等のユリ科の葉。
体長：7mm 分布：本州から九州
出現時期：4月～8月
中庭のイヌビワの葉上にじっと止まっていたもの。中庭にはサルトリイバラは無いので偶然立ち寄った個体と思われます。



初鳴き日： カッコウ（5/9）
ホトトギス（5/14）

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

☆ イベント報告 ☆

「平尾台 春の虫観察」5月18日（日）

4家族の親子（子供は2歳から9歳まで8名）が参加。今日は、木や草の葉にいる虫、花に来る虫を中心に観察。神社の森を抜け、深窪から森の周りの防火帯を歩きました。約50種の昆虫（ハムシ、オトシブミ、ゾウムシ、コメツキムシ等）を観察。特に、クヌギの葉っぱで揺籃を作っているヒメクロオトシブミや体に比べ大きな櫛型の触角を持っているヒゲコメツキ、触ると動かず死んだふりをするシロコブゾウムシなどの生態に触れ、興味津々の様子でした。子供達は、虫を見つけると観察用カップに入れ、「これはなにに？」と盛んに質問をします。観察した虫は全て逃がしました。（参加者：一般15人、ボランティア2人、スタッフ2人）



「カッコウ観察会」6月1日（日）

研修室で、双眼鏡の使い方・カッコウの生態・平尾台の野鳥について、30分程度解説。その後、フィールドスコープ2台と各自双眼鏡を持って草原へ出発。今回はカッコウをメインに観察を行いましたが、鳴き声だけで姿は確認出来ませんでした。それでも草原の中で、ゆったりと野鳥の囀り声を聞きながらの散策は、それだけで気持ちよく楽しめました。草原性の野鳥は16種確認。参加者の半数がイベント初参加だった為、コースを多少変更して不動山へ登り、景観も楽しめるようにしました。（参加者：一般11人、ボランティア6人、スタッフ2人）



平尾台の周辺歩き

井手浦

いでうら

小倉南区の井手浦は、大平山と塔ヶ峯の山麓に広がる、山に囲まれた盆地です。毎年1月8日に行われる八日祭（奇祭：尻振り祭り）が有名な所です。水が豊かで棚田が広がっています。最近、地元の酒造メーカーが、この棚田で栽培された紫米を使って、淡い紫色の日本酒「IDEURA」を醸造しています。また、ここには井手浦浄水場（S47完成）があり、北九州市内に給水しています。立花川（紫川の支流：東谷川へ注ぐ）の上流部には、井手浦洞があり、平尾台（大穴など）に降った雨水を流出しています。付近は石灰岩が露出しており、北九州には珍しいバクチノキ（バラ科）が生育しています。樹皮が鱗片状にはがれ、紅黄色の肌が現れます。樹皮が剥がれ落ちる様を博打に負けて着物を剥がれるのに例えたといわれます。また、井手浦はホタルの名所でもあります。



野の花スケッチ

今月はキキョウ（桔梗）です。
（キキョウ科キキョウ属）

RDB（環境省）絶滅危惧Ⅱ
RDB（福岡県）絶滅危惧Ⅱ
北九州国定公園指定植物

夏の訪れとともに、緑が濃く生い茂ってきた平尾台で、ひときわ目立つ存在がこのキキョウです。草丈は50～100センチで、4～5センチの青紫色の花を咲かせます。

暑くなってきた草原でキラリとしたこの花に出会うと、すがすがしさを感じます。

『秋の七草』の中に出てくる朝顔の花は、このキキョウだといわれています。

（進藤）



N. Shindo

平尾台の生きもの

ニホントカゲ：トカゲ科トカゲ属（日本固有種）。全長：20～25mm。分布：北海道から九州。出現時期：4月～11月。繁殖期は4月～5月で、オスは喉が橙色になる。交尾後、メスは石垣のすき間などに巣穴を掘り、卵を約10個産卵し、ふ化するまで1ヶ月ほど卵を守る。

肉食性（地上性の昆虫、クモ、ミミズ、ワラジムシ等）で、敵に襲われると尾を自切して逃れる。



中峠付近の側溝の中にいた個体

☆ イベント情報 ☆

●梅雨の生き物観察会

梅雨期の生き物を観察してみよう！
開催日：平成20年7月6日（日）
時間：9:30～15:00（雨天実施）
定員：20名
〆切：6月30日（月）必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成20年7月18日（金）
（10:00～16:00）研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切：7月11日（金）

●鍾乳洞探検

鍾乳洞の中を探検する初心者ケイビング
開催日：平成20年7月27日（日）
時間：9:30～15:00（小雨実施）
定員：20名（小学4年生以上）
〆切：7月20日（日）必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●生き物写真展

生き物写真家の方々が撮影された本格的な写真展。様々な生き物の写真、約50点を展示します。
開催日：7月1日～8月30日（土）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室・ホール

パトロールだより

風鎮祭 6月1日（日）

風の神様を祀っている祠にお供え物をして、平尾台町内の豊作と家内安全を祈念しました。千貫岩Pから東に延びる農道を進むと風神山があり、風の祠付近からの谷越しの眺めは、素晴らしい。



風の祠

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉8月は休館日なし

☆ イベント報告 ☆

「トキソウ観察ハイキング」6月8日(木)

曇り空の下、センター～見晴台～茶ヶ床～中峠～広谷(昼食)～中峠～茶ヶ床～山神社～センターと歩きました。広谷湿原のトキソウは見頃を迎え、草地ではヤマトキソウも開花していました。参加者は「美しい花ですね!」と喜んでいました。今回は、約30種(ウツボグサ、ツレサギソウ、ヒメケフシグロ、ヤマツツジ、クララ等)の草原性野草を観察、森ではバイカウツギなども観察しました。ただ下見の時に咲いていたオカウツボが盗掘されており、参加者の皆さんも憤りを感じておられました。今回は野草の観察と共に自然保護についても考えさせられたイベントとなりました。(参加者:一般16人、ボランティア7人、スタッフ1人)



「梅雨の生き物観察会」7月6日(日)

当日は、平年より10日以上早い梅雨明けで、カタツムリは天気が良いすぎて殆ど見かけずキュウシュウシロマイマイやキセルガイなど数種、昆虫ではマイマイカブリやナナフシ、ラミーカミキリなど数十種、キノコはキツネノロソクやキイボカサタケなど数種を観察しました。前日に仕掛けたトラップ(わな)には、地上性昆虫(シデムシ、ヨツモンシデムシ、オサムシ、ハネカクシ、ゴミムシなど)が掛かっていました。子供全員が観察カップで観察する方法はとても好評で、積極的に虫を探していました。(参加者:一般14人、ボランティア3人、スタッフ2人)



☆ イベント情報 ☆

●ノヒメコリ観察ハイキング

夏の野草を観察しながらハイキング
開催日:平成20年8月10日(日)
時間:9:30～15:00
定員:20名
〆切:8月3日(日)必着

●月と木星の観察会

ペルセウス座流星群の天体観察をします
開催日:平成20年8月13日(水)
時間:17:00～20:30
定員:50名(高校生以下保護者同伴)
〆切:8月6日(水)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日:平成20年8月15日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:8月8日(金)

●平尾台 夏の虫観察

平尾台で見られる夏の虫を観察します
開催日:平成20年8月24日(日)
時間:9:30～15:00
定員:20名
〆切:8月20日(水)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●生き物写真展

様々な生き物の写真、約50点を展示します。
開催日:7月1日～8月30日(土)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所:センター1F展示室・ホール

平尾台の周辺歩き 旧登山道

小倉南区木下から吹上峠まで

今回は、平尾台グラウンドワークの一環として、2002年に整備復活された小倉側からの旧登山道を紹介します。県道28号線沿いの横山池①の少し先の旧道入口②から登ります。途中は照葉樹林③、竹林、杉林の中の道を歩きます。一部が九州自然歩道になっておりカタツムリマークの案内板④があります。数箇所、県道を横切ります。県道21番カーブ⑤から上は、石灰岩に変わり、⑥から上は草原の道になり展望が開け、程なく吹上峠⑦に着きます。横山池から吹上峠までは1時間弱の行程です。途中には沢もあり、秋から初夏までがお勧めです。取材した7月13日は、横山池にヒツジグサの白い花が咲いており、中腹ではヒメハルゼミの大合唱が待っていました。吹上峠から約40分で大平山山頂です。皆さんも是非、この旧道をご利用下さい!!



野の花スケッチ

今月はノヒメコリ(野姫百合)です。
(ユリ科ユリ属)

草丈は30～100センチで、日本産ユリ属の中でもっとも小さな花(直径3～4cm)です。花びらは厚みがあり鮮やかなオレンジ色で透明感があります。先端がクルリと反返って、真夏の日差しの中で元気に咲くノヒメコリの可愛さは一度見ると忘れられません。分布は四国、九州、沖縄と限られていますが、平尾台では比較的多く見られる花です。(進藤)

RDB(福岡県)絶滅危惧ⅠB
北九州国定公園指定植物



パトロールだより

～梅雨時のきのこ～

今年の梅雨は雨がが多く、きのこの生育が良かったです。①キヌガサタケ(スポンタケ科)、②キツネノロソク(スポンタケ科)、③キイボカサタケ(イッポンシメジ科)



平尾台の生きもの

ヒメヒラタアブ: ハナアブ科(アブバエ科)。体長: 9mm、翅長7mm。分布: 本州・四国・九州。各種の花に集まる。停止飛翔する姿が独特で、腹部の黄色い帯が愛らしい。名前がアブとなっていますがハエの仲間なのでアブバエともいいます。

ショウリョウバッタ: バッタ科。ひつじだよりNO. 76でも紹介したバッタです。ウツボグサの周辺に多数の幼虫がいたので観察していると、そのうちの一匹が花の上に飛び移りました。余りに小さくて可愛いのので、そっと写真を撮りました。でも子供たちは、捕まえようとする為、八方に逃げていきました。



石のひっこじ だより

平尾台の周辺歩き 旧登山道

行橋市大行事から
千仏鍾乳洞まで

大行事の登山口には大きな自然歩道の案内看板①があり、これを少し平尾台側に戻ると右手に入る道があります。民家を抜けると森の中の暗い道が続き、大きな千仏岩②の露出が見られます。途中から草原の中の道になり、右手に天狗岩、前方に石灰岩搬出用のベルトコンベア④が見えてきます。付近にはエゾミソハギ③の花が咲いていました。千仏橋までは、明るい道が続き、野草も多く見かけます。橋から先は、森の中の道⑤となり、鍾乳洞から流れ出た水の冷気で急に涼しくなります。人の声が聞こえるとそこは千仏鍾乳洞⑥です。登山口から約1時間の行程です。鍾乳洞から上が、このコースで一番きつい登りです。登りきると台上の草原です。この千仏谷沿いの道は利用者が少ないようです。



☆ イベント報告 ☆

「ノヒメユリ観察ハイキング」8月10日(日)

お盆の帰省や暑さの為か一般4人と参加者が少なかったが、中身の濃い観察会となりました。ノヒメユリはちょうど見頃を迎え、キキョウなどの夏の野草も約60種を確認しました。珍しいホオズキやツチアケビの実も観察し、皆さん喜んでおられました。また昆虫では、珍種のアサカミキリや美しいルリモンハナバチ、タマムシなども観察できました。(参加者:一般4人、ボランティア8人、スタッフ1人)



「月と木星の観察会」8月13日(水)は天候不良で中止。

アサカミキリ:トホシカミキリ族 分布:本州、四国、九州、隠岐 発生時期:5月～8月 寄生植物:アサ、アザミ類 体長:10～15mm。麻の栽培が禁止されたことや草原の減少により急激に数を減らし、現在はアザミ類に依存する個体が局所的に発生しています。絶滅が危惧されています。平尾台でも少数確認されているようですが、私自身は今回初めての出会いでした。シックな色合い。これからも生き延びてほしいです。



☆ イベント情報 ☆

- **草刈ボランティア**
平尾台散策道の草刈整備です。
開催日:平成20年9月の平日
時間:9:00～12:00
定員:10名
〆切:8月24日(日)必着
- **雲山早朝登山**
企救富士(貫山)から早朝の眺めを楽しみます
開催日:平成20年9月15日(祝)
時間:4:30～11:00
定員:30名
〆切:9月8日(月)必着
- **アートフラワー講座**
平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日:平成20年9月19日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:9月12日(金)
- **平尾台 秋の虫観察**
平尾台で見られる秋の虫を観察します
開催日:平成20年9月28日(日)
時間:9:30～15:00
定員:20名
〆切:9月21日(日)必着
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。
- **アートフラワー作品展**
アートフラワー作品、約40点を展示します。
開催日:9月2日～10月30日(木)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所:センター1F展示室

野の花スケッチ

今月は**ヒナノキンチャク**(雛の巾着)です。
(ヒメハギ科ヒメハギ属)

草丈7～15センチの一年草で花は黄色味のある淡紫色で長さ2ミリの花を咲かせます。

果実の形が小銭などを入れるきんちゃくに似ており、小さくてかわいらしいことからきています。

平尾台では道の端のなどに生えていますが、数も少なく小さいので見付けにくいです。(進藤)

RDB(福岡県)絶滅危惧I B
北九州国定公園指定植物



平尾台の生きもの カミキリムシ

アオスジカミキリ:アオスジカミキリ族。分布:本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、奄岐 時期:6月～8月 寄生植物:ネムノキ、アカシア 体長:15-35mm。センターの燈火に飛来したもの。平尾台にはネムノキが比較的多い為、時々見かけます。



ヨツスジトラカミキリ:トラカミキリ族。分布:本州、四国、九州、対馬、奄岐、屋久島、南西諸島 時期:7月～8月 寄生植物:各種広葉樹 体長:13-18mm。アシナガバチに擬態しているらしい。

トラフホソバネカミキリ:ホソバネカミキリ族。分布:北海道、本州、四国、九州、伊豆、トカラ 時期:6月～8月 アカメガシワ等の広葉樹倒木 体長:16-22mm。小倉からの旧登山道の薄暗い森で見かけました。



殆どのカミキリムシは触角が長く、あごが鋭い。日本に、約800種が分布。

石のひっこじ だより

平尾台の周辺歩き 寺見寺

等覚寺は、水晶山の南東斜面（標高約300m）に広がる日本農村景観百選（農林水産省1991年指定）に選ばれた棚田①の美しい地区で、かつて山伏の修行の場として栄えた里です。ここは、英彦山を中心とした豊前六峰（豊前修験道）の一つで、松会行事（国指定重要無形文化財1998年指定）が毎年4月の第三日曜日に白山多賀神社②で行われています。松会のクライマックスの幣切り神事は、全国でも等覚寺地区にしか残っていない貴重な伝統行事です。祭りの施主は現在13戸の家が持ち回りで行っているそうです。白山多賀神社の奥の院が、青龍窟⑥の東洞口内あり、青龍大権現豊玉姫を祀っています。取材日（秋分の日）の棚田は、ヒガンバナが盛りを迎えており、絵のように美しい景観でした。稲刈りは殆ど終わっていましたが、古代米の赤米が実っていました。ここでは、主婦が中心となり、村興しとして松会味噌や松会漬を作り販売しています。



苅田町等覚寺地区から青龍窟まで

☆ イベント報告 ☆

「平尾台 夏の虫観察」8月24日（日）

今回は平尾集落～山神社～平尾の森～茶ヶ床～目白のコースを虫を見つけながら歩きました。集落周辺（ゴインジミ、スケバハゴロモ、ベッコウハゴロモ、ラミーカミキリ）、平尾の森の地面に設置したトラップ（・オサムシ、ゴミムシ、センチコガネ、シデムシ）、目白の蝶トラップ（サトキマダラヒカゲ、ルリタテハ）、クヌギ樹液（カナブンやゴマダラチョウ）などで観察しました。虫好きの小さな子が多く、親と一緒に虫を追いかけ、目を輝かせていました。（参加者：一般15人、ボランティア2人、スタッフ2人）



「アートフラワー作品展」9月2日～10月30日

山岸三代子さんと野の花の会の皆さんが、作られた作品を毎年センターで披露しています。平尾台に咲く野草を布と針金を使って本物と見紛うほどに見事な作品に仕上げられています。花卉・おしべ・茎・葉など一つ一つの部品を造り、その部品を組み合わせるといふ地道で細かい作業ですが、完成した作品を見ると温かみのある見事な芸術作品となっています。センター1Fの展示室がぱっと華やかなスペースに変わりました。皆さん、是非センターにお越し頂き、ご観賞下さい。



☆ イベント情報 ☆

●ススキ観賞ハイキング
平尾台のススキを観賞しながら秋の草原をのんびり散歩してみましょう！
開催日：平成20年10月13日（祝）
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：10月6日（月）必着

●アートフラワー講座
平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日：平成20年10月17日（金）
時間：10:00～16:00
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切：10月10日（金）

●周防台展望ハイキング
周防台から天狗岩までの展望尾根ハイキング
開催日：平成20年10月26日（日）
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：10月19日（日）必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●アートフラワー作品展
アートフラワー作品、約40点を展示中
開催日：9月2日（火）～10月30日（木）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

野の花スケッチ

今月はウメバチソウ（梅鉢草）です。
（ユキノシタ科ウメバチソウ属）

山地の日当りのよい湿った草原に生える植物ですが、平尾台では、比較的乾いた草地でも見かけます。夏期は10月から11月で、草丈は15センチ前後です。花は径2～2.5センチと小ぶりの花ですが、この花を上からルーペなどで良く見ると、仮オシベという繊細な組織があり優雅で、神秘的でもあります。一度は見てください。進藤

RDB（福岡県）絶滅危惧Ⅱ
北九州国定公園指定植物



平尾台の生きもの



スケバハゴロモ：ハゴロモ科。分布：本州、四国、九州、小笠原 時期：7月～9月
ウツギ、キイチゴ、クワなどの樹液 体長：6mm、翅端まで10mm。集落周辺のマユミの木についていました。羽がすけており、セミに近い仲間で、動きがとても面白い。

アゲハモドキ：アゲハモドキガ科。分布：北海道、本州、四国、九州 時期：5月～9月（年2回発生）食草：ミズキ科やヤマコウバシイ 開張：55-60mm。ジャコウアゲハ♀（有毒）に擬態しているらしい。昼行性で花に集まるが、灯火にも飛来する。



白骨コウモリ

8月31日と9月7日にボランティア研修として不動洞ケイビングを実施しました。流出型の洞窟で、洞口は胸まで水深があります。今回は左洞と右洞の他に小さな4つの支洞にも入りました。その支洞の一つで、泥の上に横たわるコウモリの全身白骨死体を見つけました。直径が約5cmの円に納まる大きさです。近くに数匹のコウモリが飛んでいたのですが、種名は分かりませんでした。



石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の周辺歩き 椿市界限

行橋市 高来地区
福丸地区

平尾台の行橋側山麓に広がる椿市周辺を紹介いたします。万葉集には、海石榴市と詠まれた歌があるそうです。平尾台から県道28号線を下ると左側にこんもりとした鎮守の杜があり、そこに清地神社①があります。祭神はスサノウの命。その東側に、椿市廃寺跡（願光寺）②があります。7世紀末から9世紀まで存続した初期寺院の一つで、発掘調査の結果、四天王寺式伽藍配置であったと推定されています。ここには、当センターにも句碑のある安田耕雲先生の石碑があります。廃寺の北側の山中には、ムクモト古墳③があり、7世紀中頃の単室、両袖式横穴石室の古墳です。取材時にはコウモリがぶら下がっていました。県道を挟んで南側には、千仏鍾乳洞の開発者（大石高平）として知られる大石家住宅④があります。文政11（1828）年の建築で行橋を代表する農家建築です。その南側の小月地蔵⑤は、咳をとめてくれるお地蔵さんです。



野の花スケッチ

今月はシマカンギク（島寒菊）です。
（キク科キク属）

直径は1.5～3センチの黄色い花を、枝先一杯につけます。西日本を代表する菊属の野菊です。茎が地面に倒れたり、斜面から垂れ下がる事も多いです。平尾台の県道や山道沿いに咲くシマカンギクは晩秋の平尾台を彩っています。（進藤）



☆ イベント報告 ☆

「平尾台 秋の虫観察」9月28日（日）

草地でバッタ捕りやバッタ釣り（疑似餌でバッタやカマキリを釣る）をし、また事前に仕掛けたトラップで捕らえた虫の観察もしました。コースは山神社～深窪～茶ヶ床～森の防火帯。今回は、キリギリス、クツワムシ、スズムシ、エンマコオロギ、トノサマバッタ、コカマキリ、オオカマキリ、ツチイナゴ、センチコガネ、ホシベニカミキリ、マメハンミョウなどの昆虫にも出会いました。子供たちが楽しく虫と親しむ姿は微笑ましく、保護者も喜んでおられました。（参加者：一般29人、ボランティア3人、スタッフ2人）



「ススキ観賞ハイキング」10月13日（月・祝）

ススキはちょうど見頃を迎え、野草もヤマジノギク、イナカギク、ヤクシソウ、ヒメヒゴタイ、アキノキリンソウなどのキク科の花が咲き誇っていました。しかし、リンドウやムラサキセンブリなどの花はまだ蕾でした。コースは、山神社～深窪～鞍外し～小穴（昼食）～中峠～茶ヶ床～山神社。参加者は二班に分かれ、ボランティアの解説を聞きながら散策。ちょうど防火帯の草刈をしており、すでに野焼きの準備をしている事を実感。貫入岩やドリネ、カレンなども観察しました。（参加者：一般27人、ボランティア5人、スタッフ2人）



平尾台の生きもの

マメハンミョウ：ツチハンミョウ科。分布：本州～九州 出現時期：8月～9月 体長：12-17mm。幼虫はイナゴなどの卵を食べて育ち、成虫は種々の草の葉を食べ、農作物も食害します。カンタリジンという毒を体内もち、体液が皮膚につくとかぶれます。畑近くの草地で見かけました。



ホシベニカミキリ：カミキリムシ科。分布：本州、四国、九州、奄美 出現時期：5月～8月 奇主植物：タブノキ、クスノキ、ヤブニッケイ 体長：18-25mm。成虫越冬。鮮やかな紅色をした美しいカミキリムシです。タブノキを後食している所を偶然見つけました。

☆ イベント情報 ☆

●ウメバチソウ観察ハイキング

秋の野草を観察しながらハイキング
開催日：平成20年11月5日（水）
時間：10:00～15:00
定員：20名
〆切：10月31日（金）必着
※おでかけ交通対応イベントです。

●鍾乳洞コウモリ観察会

鍾乳洞に棲むコウモリなどの洞窟性生物を観察してみよう！
開催日：平成20年11月16日（日）
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：11月9日（日）必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日：平成20年11月21日（金）
時間：10:00～16:00
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切：11月14日（金）

●落ち葉アート

落ち葉や木の実で作る自然工作です！
開催日：平成20年11月30日（日）
時間：9:30～15:00
定員：20名
〆切：11月23日（日）必着
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●カルスト文化祭作品展

皆さんから寄せられた平尾台に関する写真・絵画・俳句などを展示。
開催日：11月1日（土）～11月29日（土）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

おちやめガラス

9月末頃よりセンター周辺に人懐っこいハシブトガラスが現れるようになり、餌のおねだりや、落ち葉遊びなどを行っています。ついに新聞やラジオでも紹介され、わざわざ見に来る観光客もいます。幼鳥なので人を恐れていないとか、飼われていたとか色々憶測を呼んでいます。



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の周辺歩き 香春岳

香春町は北九州市小倉南区の南に接しており、国道322号線の金辺トンネルを抜けるとすぐに右前方に香春岳の鋭峰が見えてきます。炭坑節で有名なこの山は、一ノ岳は石灰岩採掘の為に昔日の面影もなく、二ノ岳も登山禁止です。登山対象は三ノ岳だけです。全山石灰岩の山で、周囲はスカルン鉱物（石灰岩と花崗岩が接して出来る鉱物）の宝庫です。採銅所の地名が示すように、銅の産地として知られ、長光には銅鉱山跡、神間歩①の坑道入口が見学出来ます。近くにその銅で銅鏡を作ったとされる清祀殿②があります。五徳峠から岩登りコースとファミリーコースが整備されており、1時間程度で山頂に登れます。山頂からは、平尾台、英彦山や豊前海等360度の展望が開けています。麓には伝教大師最澄が建立したと言われる神宮院③や伊能忠敬の測量碑④、香春神社⑤などの史跡が多く、散策にも楽しい地域です。また、香春岳は猿の生息地とし③て、全国的に有名です。



☆ イベント報告 ☆

「ウメバチソウ観察ハイキング」11月5日（水）

平日イベントにもかかわらず参加者が多かった為、3班に分かれて観察しました。コース：センター～見晴台（周辺）～エノハの淵～茶ヶ床（昼食）～中峠～茶ヶ床～深クボ～山神社～センター。快い晴天でウメバチソウやリンドウ、ムラサキセンブリ等の開花状態もちょうど良く観察日和でした。午後からは、予定をすこし変更してヤマラッキョウを観にいきました。ウメバチソウはもちろんです、北九州では珍しいムラサキセンブリの多さに参加者の皆さんは歓声をあげて喜んでおられました。（参加者：一般29人、ボランティア5人、スタッフ2人）



「鍾乳洞コウモリ観察会」11月16日（日）

約100名の応募がありましたが、ヘルメットやお世話の関係で抽選になりました。観察場所の青龍窟へは茶ヶ床から晩秋の自然を楽しみながら歩きました。肝心のコウモリは、残念ながら2頭から7頭しか観察出来ませんでした。天井からぶら下がっているコウモリを初めて観る方が多く、とても喜んでいました。他にカマドウマやオオゲジ等も観ました。観光課されていない洞窟が初めての方が殆どで、ヘルメットやキャップライトを付けて入ること自体が貴重な体験となりました。また、修験者の月例祭が東洞ホールで行われていました。一部の方はほら貝を吹かせてもらい、良い体験になったようでした。（参加者：一般36人、ボランティア5人、スタッフ2人）



☆ イベント情報 ☆

● 栞野観察ハイキング

栞野を歩き、草紅葉や枯れ尾花を観賞
開催日：平成20年12月7日（日）
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：12月1日（月）必着

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日：平成20年12月12日（金）
時間：10:00～16:00
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切：12月5日（金）

● ミニ門松作り

お正月用の小さな門松を作ります。
開催日：平成20年12月21日（日）
時間：9:30～12:00
定員：20名
材料費：1人500円程度
（※雨天実施イベントです）
〆切：12月14日（日）必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

● バトロール写真展

毎日行っているバトロールで撮った様々な平尾台を紹介します。
開催日：12月2日（火）～12月28日（日）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

野の花スケッチ

平尾台ではエノキ等の落葉樹の枝に寄生し、2月～3月には数ミリの目立たない花を付けます。秋に淡黄色で半透明の1センチに満たない球形の実を付け、割るとベトベトしています。渡り鳥のヒレンジャクがこの実を好んで食べますが、糞もベトベトし、木の枝にくっつき易く、また他の樹で子孫を繁栄させる事ができるというよい仕組みを持っています。西洋では、白い実のヤドリギをクリスマスに飾るという風習があるそうですが、12月の平尾台でこの実は優しく光っています。

（進藤）



今月はヤドリギ（宿り木）
（ヤドリギ科ヤドリギ属）



平尾台の生きもの

カナブン：コウチュウ目コガネムシ科ハナムグリ亜科。分布：本州～九州 出現時期：7月～8月 体長：23-29mm。幼虫は朽ち木など腐植を食べて育つ。幼虫の体の断面はカマボコ型で、褐色で固い頭があり、短い脚が3対ある。触ると体をC字型に丸める。地上に出すと、体を伸ばし、腹を上にして、背中を波打たせて前進する。写真はコウモリ観察会の掃り、中峠で這っていたもの。



解説 英彦山修験と平尾台

羽黒山（山形）・熊野大峰山（奈良）と並ぶ日本三大修験道の一つである英彦山。その英彦山へ登る為の修行場として古くから知られているのが普智山等覚寺の奥の院である青龍窟です。今回は、月例祭の為に10人程の修験者が洞内の清掃と読経をして修行に励んでいました。等覚寺は天台宗の流れを組む修験道で、本山派と呼ばれています。



— 後記 —
法螺貝は吹く事により悪魔降伏の威力を発揮するとされ、連絡・合図用にも使われます。